

令和2年4月13日

関係各位

一般社団法人熊本県バスケットボール協会
会長 桑原洋征

新型コロナウイルス感染症拡大への対応・対策に基づいたチーム活動について（要請）

日頃より、当協会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

（公財）日本バスケットボール協会より標題について発信（4月1日付）されておりますが、再度徹底の意味で皆様方にご理解とご協力をお願い致します。

各チームの活動を直接的に制限するものではありませんが、自治体や教育委員会の方針に反し、部活/クラブ活動を強行実施しているとの情報が寄せられております。

当該感染症は、若年層であっても重症化する可能性があり、無症状の感染者が無自覚のうちに感染を広げる危険性もあります。また県内で死亡者も出ております。

何より今は、感染拡大防止のために、皆が一丸となって対策に取り組むことが重要な時期です。

この状況を乗り越えるべく、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※下記にチーム活動等を行うにあたっての条件/注意点を記します。

記

【チーム活動実施の条件/注意点】

- ① 小・中・高・特別支援学校の臨時休業が解かれていること
- ② 学校が再開され、かつ、所属長からクラブ活動の許可が出ていること
- ③ 社会体育クラブについては、（文部科学省の通知を受け）公立学校の設置者（高校：県教委、小中学校：市町教委）が通常のスポーツ活動を許可していること
- ④ 在籍するプレイヤーの所属（学校）が多数の場合、各校の対応を優先すること
- ⑤ 保護者・プレイヤーの判断を優先し、参加を強制しないこと

※ プレーヤー個人での活動実施については、県協会登録チーム・個人である以上集まったの活動はしない。その他については上記①～⑤に準じる。

（参考）

島沢 優子（フリーライター）氏は

「休校中の「闇部活」コロナ禍でも強行される異様」の中で

部活動も、スポーツも、命を賭けてやるものではない。技術の向上は、収束した後でもできる。指導者達は子どもたちに今学ぶべきことを伝えてほしい。

とあります。